

サロン・ラクーガ 美術館巡いの報告

サロン・ラクーガでは、今年度の美術館巡りを行いましたので、その状況を報告致します。

- <月日> 2017年2月28日(火)
<場所> 国立西洋美術館(上野)で、シャセリオー展を見学
午後から上野動物園で動物をスケッチ
<参加者> 今年1月から入会された女性1名を含め5名
<美術館巡り>

朝10時に、上野駅公園口改札に集合。

国立西洋美術館で開催されているシャセリオー展に行くことに決定する。

実の事を言うと、私自身は「シャセリオー」という名前を、この時初めて知りました。

テオドール・シャセリオー(1819-1856)。フランスの画家。自画像、歴史画、宗教画、寓意的な壁画、アルジェリア旅行をもとに描いたオリエンタリズムあふれる作品が有名とあります。



<自画像>



<カバリユス嬢の肖像>



<アポロンとダフネ>



<コンスタンティヌのユダヤ人街の情景>



<東方三博士の礼拝>

私たちは、ゆっくりシャセリオーの絵を見て回り、その後に常設展の方も見て回りました。

写実的で端正な絵は、生身の人間が迫ってくるような迫力を感じました。

1時前頃見終わり、昼食を館内のレストラン「すいれん」でとりました。



(国立西洋美術館の前で)



(美術館に入るメンバー)



(レストラン「すいれん」で昼食)

<動物のスケッチ>

昼食後、松下部長の強い要望により、上野動物園に行き、動物のスケッチをすることになりました。



入場券にはパンダの写真がありましたが、当日は展示されていませんでした。

(目下、「子づくり中」との事)

上野動物園は、何十年ぶりの事か。

パンダのスケッチはできませんでしたが、保育園の園児らの横で、いくつかの動物のスケッチをしました。

しかし、動き回る動物を描くのは初めてで、皆さん悪戦苦闘していました。



<終わりに>

2月も末で、日差しも少し春めいて風もなく、穏やかな一日を上野の森で過ごしました。ただ、3時半を過ぎる頃になると、頬が冷たく感じる風も吹き始めたので、帰途につきました。5月には、次の展覧会も計画しており、今日の題材を、どう使おうかと考えています。

記 : 小原誠一